



仁科芳雄博士 (1890 ~ 1951)

## 11月11日(日) 仁科記念講演会を多摩六都科学館にて開催

小林 誠 (仁科記念財団理事長)・高柳 雄一 (多摩六都科学館 館長) による挨拶も

多摩六都科学館 (東京都西東京市、館長：高柳雄一 以下、当館) は、2018 年 11 月 11 日 (日) に仁科記念講演会「アイソトープで探る宇宙」を開催いたします。

仁科芳雄氏は日本の現代物理学の父と呼ばれ、この講演会は、原子物理学とその応用分野の振興を目的として設立された仁科記念財団主催の催しです。64 回目を迎える今回は、多摩六都科学館のサイエンスエッグを会場にし、二人の研究者よりアイソトープを利用した研究で得られた最新の知見をお話しいたします。

挨拶



小林誠 理事長  
(2008 年ノーベル物理学賞受賞)



高柳雄一 館長

講演 1 「屋久杉に刻まれた過去の太陽活動」

三宅 美沙 (名古屋大学 宇宙地球環境研究所 准教授)

講演 2 「南極の氷からひもとく宇宙と地球の歴史」

望月 優子 (理化学研究所 仁科加速器科学研究センター雪氷宇宙科学研究開発室 室長)

主催：仁科記念財団 共催：多摩六都科学館 後援：日本アイソトープ協会

### 仁科記念財団について

1951 年仁科芳雄博士の没後、博士の偉大な業績を称えるとともに、原子物理学の基礎とその応用の分野において優れた研究者を育成するという博士の遺志をつぐ事業を行うため、当時の吉田茂首相を会長として設立発起人会が結成され、1955 年に財団法人仁科記念財団が設立されました。仁科記念財団は、仁科博士の誕生日にあたる 12 月 6 日頃、広く一般の方々に科学の楽しさを味わっていただくために、毎年定例の定例の記念講演会を開催しています。

### アイソトープとは

地球上の全てのものを構成している原子。そのうち、化学的性質は同じでも、重さが少しだけ違う (原子番号は同じで質量数だけが異なる) 原子のことを「アイソトープ (同位元素)」と呼びます。



概要

名称：2018 年度 仁科記念講演会「アイソトープで探る宇宙」

日時：11 月 11 日 (日) 17:10 ~ 19:10 (17:00 開場)

会場：多摩六都科学館 サイエンスエッグ (プラネタリウムドーム)

参加費：無料 (入館料も無料)

定員：200 名

対象：中学生～大人 ※参加者以外入室不可

申込：事前申込 10 月 29 日 (月) 必着 ※詳細はチラシをご参照ください

本件に関する  
問い合わせ先

多摩六都科学館 広報担当 (石山・春口) まで  
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 5-10-64  
TEL：042-469-6100 (代表) 042-469-6984 (広報直通)  
mail：info2@tamarokuto.or.jp